

学校法人神戸薬科大学

2026年度予算書

2026年度予算書は、2025年12月18日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱を基に、その内容の見直しを行うとともに、予算大綱作成時以降に採り上げた新規予算項目を織込み作成した。主な予算書である資金収支予算書及び事業活動収支予算書の概要については以下のとおり。

1. 資金収支予算書

(1) 資金収入

学生生徒等納付金収入や補助金収入が増額となるも、前年度計上したキャンパス整備にかかる支出に対応した特定資産の取崩しの計上がなくなり、その他の収入が大幅に減額となるため、単年度の収入の合計は前年度比91,200千円減の4,369,600千円を見込む。

【科目別内容】

- ① 学生生徒等納付金収入
学部学生数を1,810名（新入生280名、2年次～6年次生1,530名）と想定し、学部納付金を3,350,000千円と見込み、入学金135,000千円、大学院納付金10,800千円及びその他と合わせて前年度比148,600千円増の3,498,300千円を計上した。
- ② 手数料収入
入学志願者数を1,700名と想定し、学部入学検定料を55,000千円と見込み、その他の手数料と合わせて前年度比3,600千円減の63,500千円を計上した。
- ③ 寄付金収入
研究奨学寄付14,000千円、教育研究資金寄付9,000千円、奨学基金寄付4,000千円、同窓会寄付2,000千円、桔梗育友会寄付1,000千円を見込み、前年度同額の30,000千円を計上した。
- ④ 補助金収入
経常費国庫補助金250,000千円、高等教育修学支援にかかる授業料等減免交付金220,000千円他で前年度比150,000千円増の470,200千円を計上した。
- ⑤ 付随事業・収益事業収入
補助活動収入は前年度同額の21,900千円を見込み、受託事業収入も前年度同額の15,000千円を見込み、合わせて36,900千円を計上した。
- ⑥ 受取利息・配当金収入
運用資金の期中残高予想118億円を、利回り平均約0.59%で運用するとして、前年度比23,700千円増の69,800千円を計上した。
- ⑦ 雑収入
科研費他間接経費22,500千円、退職金財団退職資金交付金19,200千円他で前年度比92,300千円減の51,500千円を計上した。
- ⑧ その他の収入
第2号基本金引当特定資産（大型機器充実資金）取崩33,000千円、研究充実準備積立金取崩14,300千円他で170,200千円を計上した。

(2) 資金支出

前年度計上した1号館解体及び跡地土壤汚染処理費の計上がなくなり、教育研究経費支出が大幅に減額となる他、人件費支出、施設関係支出、設備関係支出も減額を見込み、単年度支出の合計は前年度比1,158,870千円減の3,940,900千円を見込む。

【科目別内容】

- ① 人件費支出
教員84名、職員47名、教育研究支援職員16名及び非常勤教員とアルバイト職員他の給与に加え、定年退職者3名の退職金等を合わせ前年度比119,900千円減の1,700,100千円を計上した。

② 教育研究経費支出

長期実務実習・共用試験関係費 262,000 千円、修学支援奨学金 220,000 千円、光熱水費 190,000 千円、電子ジャーナル・データベース使用料 86,600 千円、学長裁量経費 45,000 千円、学部・大学院奨学金 37,000 千円、地域枠選抜入試制度に伴う授業料減免及び寮費奨学金 34,200 千円他で前年度比 789,970 千円減の 1,579,000 千円を計上した。

③ 管理経費支出

入試関係広告費 28,200 千円、光熱水費 25,000 千円、情報システム業務委託費 20,000 千円、大学広報関係費 17,700 千円他で、前年度比 7,000 千円増の 301,300 千円を計上した。

④ 施設関係支出

体育館、卓球室空調設備工事 131,000 千円、G棟横運動場整備 33,000 千円、テニスコート改修 18,700 千円、植物園温室鉄骨補修工事 5,000 千円他で 195,000 千円を計上した。

⑤ 設備関係支出

大型機器（400MHz NMR）更新 47,300 千円、B・E・F・G棟照明器具LED化 33,600 千円、E棟吸収式冷温水機保守部品交換 7,200 千円、関連員会選定の機器購入費 8,900 千円（研究用 3,500 千円、実習用 5,400 千円）他で 128,500 千円を計上した。

⑥ 資産運用支出

研究充実準備積立金 25,000 千円を計上した。

(3) 繰越支払資金

単年度の収入 4,369,600 千円から単年度の支出の合計 3,940,900 千円を差し引いた収支は 428,700 千円の収入超過となることから、翌年度繰越支払資金は期首から 428,700 千円増の 1,446,800 千円となり、実質翌年度の収入にあたる前受金収入 408,900 千円は十分維持できる見込み。

2. 事業活動収支予算書

(1) 教育活動収支差額

収入については、手数料、雑収入は前年度比減額となるが、学生生徒等納付金、経常費等補助金が前年度比大幅に増額となるため、全体で前年度比 202,700 千円の増額を見込む。一方、支出については、前年度計上した 1 号館解体及び跡地土壌汚染処理費の計上がなくなり、

教育研究経費が大幅に減額となるため、全体で前年度比 875,170 千円の減額を見込み、教育活動収支差額は 91,700 千円の支出超過（前年度比 1,077,870 千円増）を見込む。

(2) 教育活動外収支差額・特別収支差額

教育活動外収支差額は受取利息・配当金の収入のみの計上であり、69,800 千円の収入超過（前年度比 23,700 千円増）を見込む。この結果、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計である経常収支差額は 21,900 千円の支出超過（前年度比 1,101,570 千円増）を見込む。特別収支差額は前年度に 1 号館解体に伴う処分差額を計上したが、当年度は計上なし（前年度比 136,300 千円増）。

(3) 基本金組入額

施設関係支出 195,000 千円、設備関係支出 128,500 千円の組入れを行う一方、機器・備品の耐用年数経過に伴う除却に伴い 172,800 千円、第 2 号基本金引当特定資産 33,000 千円の取崩しを行うため、差し引き 117,700 千円の基本金組入を見込む。

(4) 繰越収支差額

経常収支差額に特別収支差額及び予備費 20,000 千円を加えた基本金組入前当年度収支差額は 41,900 千円の支出超過（前年度比 1,237,870 千円増）を見込む。基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額 117,700 千円を控除した当年度収支差額は 159,600 千円の支出超過（前年度比 1,120,170 千円増）となり、さらに前年度繰越収支差額 1,365,500 千円の収入超過を加えた最終的な翌年度繰越収支差額は 1,205,900 千円の収入超過（前年度比 990,137 千円増）を見込む。